

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE  
FOR SOCIAL RESEARCH

No. 777 July 2023

## Special Issue : Rethinking Books in Materials of Citizen Activities :

Discussions Based on Books Owned by the Former Service Corner for  
Citizen Activities in the Tokyo Metropolitan Tama Public Institution  
of Social Education

- Introduction to the Special Issue ..... YAMAMOTO Tadahito  
 Arrangement of Books in Materials of Citizen Activities.....MIYAZAKI Shouichi  
 How did the Service Corner for Citizen Activities Project Collect Books and Other  
 Materials and Provide Services to Users of the Service Corner? ..... YAMBE Toshiko  
 The Service Corner for Citizen Activities in the Tokyo Metropolitan Tama Public  
 Institution of Social Education and the Citizen Activities in Tama Area  
 ..... KATO Akihito

## Archivists' Report

- GONDA Yasunosuke Materials .....DOI Yuki

## Book Reviews

- MATSUMURA Jun, *Life as Architect : Sociology of Professional Architects*  
 .....MAKINO Tomokazu  
 OTA Hideaki, *An Introduction to the History of Socialist Thought in Japan*  
 ..... UMEMORI Naoyuki  
 NAKAZAWA Hideo, SHINDO Kei, NISHIKIDO Makoto, TAMANO Kazushi,  
 OHKUNI Atsuhiko, KUBO Tomoe, *The Departure of Post-war Japan and*  
*Coalmine Union: Kasajima Hajime Diary at Yubari* .....SHIMANISHI Tomoki

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting ..... ICHIHARA Hiroshi

The Institute's Activities in March 2023

## OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site: <https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>e-mail: [oharains@adm.hosei.ac.jp](mailto:oharains@adm.hosei.ac.jp)

編集(兼)発行人

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

## 大原社会問題研究所雑誌

777 2023.7

七七七号

【特集】図書から広がる市民活動資料の世界

## 【特集】図書から広がる市民活動資料の世界

——東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料を考える

- |  |      |    |
|--|------|----|
| 特集にあたって                                    | 山本唯人 | 1  |
| 市民活動資料における図書の整理                            | 宮崎翔一 | 5  |
| 東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー事業における<br>資料の収集と活用 | 山家利子 | 16 |
| 東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナーと<br>多摩地域の市民活動     | 加藤旭人 | 34 |

## ■資料紹介

- |         |      |    |
|---------|------|----|
| 権田保之助資料 | 土井雄貴 | 53 |
|---------|------|----|

## ■書評と紹介

- |   |      |    |
|---|------|----|
| 松村淳著『建築家として生きる』                                       | 牧野智和 | 61 |
| 大田英昭著『日本社会主義思想史序説』                                    | 梅森直之 | 66 |
| 中澤秀雄・新藤慶・西城戸誠・玉野和志・大國充彦・久保ともえ著／翻刻<br>『戦後日本の出発と炭鉱労働組合』 | 島西智輝 | 71 |

社会・労働関係文献月録 75

月例研究会 市原 博 77

所 報 2023年3月 78

二〇二三年七月

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

**アメリカの金融制度と銀行業** 商業銀行の業務展開  
前田真一郎著  
アメリカの金融機関や金融監督当局へのインタビュを基礎に、アメリカの金融制度と銀行業という広範囲にわたる内容を考察。  
A5判 定価41800円  
2023年5月刊

**日本経営史** 第3版 江戸から令和へ・伝統と革新の系譜  
宮本又郎・阿部武司・宇田川 勝  
Yibank21 定価36900円  
16年ぶり待望の改訂。日本の企業システムの形成と発展を通観。プラザ合意以降をたつぷり加筆した必読の最新版。  
2023年5月刊

**社会政策の考え方** 現代世界の見取り図  
ダニエル・ペラン/リアン・マホン 著  
四六判 定価30800円  
上村泰裕訳 グローバル化や移民の波、ジェンダー規範や家族構造の変化など、世界が直面する現実に社会政策はどのように向き合うのか。  
2023年4月刊

**外国人雇用の産業社会学** 雇用関係のなかの「同床異夢」  
園田 薫著  
A5判 定価49500円  
大企業と外国人社員との雇用関係に注目、その独特の関係がいかにして成り立ち、なぜミスマッチが起こるかを調査をもとに明らかにする。  
2023年4月刊

**新しい時代の図書館情報学** 補訂版  
山本順一編  
有斐閣アルマ 定価19800円  
図書館の役割と制度を理念から平易にコンパクトに解説した好評のスタンダードテキスト補訂版。図書館の電子化等についても加筆した。  
2016年12月刊

**新しい時代の生涯学習** 第3版  
関口礼子・西岡正子・鈴木志元  
有斐閣アルマ 定価23100円  
堀 薫夫・神部純一・柳田雅明 著 変動する社会の中で重要性を増している「生涯学習」について、学び手の視点を重視して書かれた入門テキスト。  
2018年3月刊

# 日本労働研究雑誌

No.755 2023年6月号 定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

## 特集「ジョブをめぐる2つの論点」

■提言	求められる「型」を超える視点	今野浩一郎
■論文	日本におけるジョブ型流行史	濱口桂一郎
	労使関係論とジョブ——調査体験論的考察	石田 光男
	労働契約の展開における職務の特定	鈴木 俊晴
	メンバーシップ型雇用管理とジョブ型雇用管理——ジョブ型雇用管理は日本に定着するか？	八代 充史
■書評	雇用制度に内在するジェンダー格差——職務を通して見えるもの	禿 あや美
	国際比較から見える日本のジョブの特徴	明日山陽子
	ジョブ・クラフティングの可能性の多角的検討	高尾 義明
■論文Today	佐藤厚 著『日本の人材育成とキャリア形成——日英独の比較』	柿沼 英樹
■フィールド・アイ	イタリアの高校生における職業的アイデンティティの柔軟性と心理社会的機能	石井悠紀子
	中国で教授になる (広州から①)	丸山 士行

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23 ☎ 03-5903-6255

## 《法政大学大原社会問題研究所叢書》

# 「論争」の文体

日本資本主義と統治装置

法政大学大原社会問題研究所、長原 豊、ギャヴィン・ウォーカー 編著

1920年代から30年代にかけてこの国のマルクス派を二分して闘われた〈日本資本主義論争〉とは、政治の文体あるいは物語をめぐる衝突であった。再生産論、革命論、国家論、そして天皇制——中断され、閉じられた論争の鍵概念をいまいちど現代思想の方法論的雑踏のなかに差し戻し、資本の〈内部—外部〉を分析する諸論考のもとに新たな言説装置として再構築する試み。  
■ A5判・上製・430頁/5280円

### ■主要目次■

はじめに——方法の問題と「論争」の始点	第一章 「論争」の理論的地平——再生産論批判の観点から(沖 公祐)
第一章 方法の問題——層序論的接近(長原 豊)	第二章 「古来もの」と残滓——「論争」の「時政学」的再措定(ギャヴィン・ウォーカー [根岸海馬訳])
第二章 「論争」の始点——〈帝国〉—主義(長原 豊)	第三章 資本—主義の〈函獲—捕獲〉装置——資本と天皇—制(長原 豊)
I 再領土化装置としての国家——再生産される「外部—他者」	III 「論争」の子—後(プログノーシス)——批評(クリティーク)と史料(アルシーヴ)
第一章 危機・恐慌と植民地主義——併合される外部(ケン・カワシマ [沖 公祐訳])	第一章 革命の代補——日本資本主義と「近代の超克」(位田将司+立尾真土+宮澤隆義)
第二章 新たな歴史学(グローバル・ヒストリー)と「論争」の死角——抹消される外部(平野克弥)	第二章 〈歴史的なこと〉の寓喩(アレゴリー)——「論争」の国際的再措定のために(ギャヴィン・ウォーカー [中村勝己訳])
第三章 被差別部落という装置と原国家——側置される外部(友常勉)	謝辞(長原 豊)
第四章 「女性」の不在と「惨苦の茅屋」——侵入する外部(榎一江)	
II 脱領土化装置としての資本——再生産する「内部—自己」	

法政大学出版局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 <https://www.h-up.com/>  
TEL 03-5214-5540/FAX 03-5214-5542 ※表示価格は税込みです

# 労働の科学

Digest of Science of Labour

2023年5月号 78巻5号 定価 1,200円(税込) 年間購読 13,000円(税込)

# 5

## 【特集】農業という働き方に未来を託す

- ◆60歳で農業に挑戦 .....高原久美
- ◆仲間たちと営農の道へ .....阪口俊治
- ◆若い世代が農業を継承 .....長野県佐久市
- ◆凡夫の安全衛生記・75 (最終回)「凡夫」とその思いを振り返る .....福成雄三
- ◆Talk to Talk .....肝付邦憲
- ◆ILOインド南アジア産業保健通信・5 .....川上 剛
- ◆芸能従事者の今・21 .....森崎めぐみ
- ◆「#教師のバトン」で伝わる教職員の過酷な勤務環境・23 .....藤川伸治
- ◆自由と想像・5 .....菅沼 緑
- ◆巻頭言 .....近藤真知子
- ◆労研アーカイブを読む・88 .....岸田孝弥



〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所  
TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: <http://www.isl.or.jp/>